

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名		外出支援サービス事業費								
担 当 課 係 名		長寿子育て 課		長寿いきがい 係		作成者		武藤真利子		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け		施策の大綱	全ての生命を慈しむ健康福祉のまち						総合計画の ページ	
		基本計画	高齢者福祉と介護保険事業の充実							
		主要施策	高齢者介護予防の推進						54	
予 算 費 目		一般 会計		3 款 民生費		1 項 社会福祉費		3 目 老人福祉費		
事 業 期 間		平成 年度 ～ 平成 年度			新規／継続の区分					
性 質 区 分		☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理								
根 拠 法 令 等		仙北市外出支援サービス事業実施要綱								
事 務 区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務								
運 営 方 法		☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補 助								

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	要援護高齢者または障害者の移送。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	居宅と医療機関や福祉サービスを提供する場所への移動のため移送車両による外出支援サービス。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	老衰、病弱、傷病及び障害等により一般の交通機関の利用が不可能な者に対し、ストレッチャー装備車両で移送する。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	利用者数			
		利用者延べ利用数	303	384	
	成果指標				
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		655	776	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	655	776	
	人件費 (B)	—	785	807	
		職員数	0.1	0.1	
		職員平均人件費	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—	1,440	1,583	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	4,752	4,122	
	市民1人当たりのコスト(円)	—	45	50	

【事務事業の今までの成果】

仙北市社協に委託しているが、委託料の見直しを提示され、双方検討した結果２０年度より算定基準を設け実績により委託料を支払っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	市独自の事業
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	他に移送手段が無い方のための事業であることから継続を望まれている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	車両の維持管理、燃料費の高騰などで協議する必要があるため。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

寝たきりの方の移送は他のサービス事業者が行っておらず、医療機関等への移動手段として今後も継続していく必要がある。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	現在は民間参入業者がない状況である。今後は、委託内容等の検討を進めると同時に、民間業者の参入できる土壌作りが必要と考える。

一次評価診断図

